

誰かのために、助け合いの気持ち

ねらい：年下の友だちに優しくしたり困っている友だちに気付いて助けたり積極的に関わろうとする。



【振り返り】

年長児になりはや半年、運動会や音楽会など様々な行事や活動を通して心身ともに大きくなっている子ども達です。好きな事も苦手な事も少しずつクリアして自信が湧き、自分の思いを素直に伝えたり主体的に遊びや活動に参加したりするようになってきました。そんな中で自分の強さを認めて欲しい思いと、それに伴う周りのお友だちの気持ちの変化について考える場面がありました。本当の強さとは？優しさとは？異年齢での活動が増えてきて、年長さんとしてできる事やどうしたらよいかクラスで話し合いました。「優しくする」「助けてあげる」「困っている子に気付く」が子ども達が考えた答えでした。私からは『強さや優しさは誰かと比べるものではないよね』『小さなお友だちや困っている人を助けられる優しい強さを見てみたい』と伝えました。この話をしながら私自身も自分本位になっていないか、どこか他人任せになっていたか気付かされました。自分の事で精一杯になってしまふ事もありますが、少し視野を広げて周りに気付く、クラスやみんなのために小さな事から始められる人になって欲しいなと願っています。（**自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合い**）

対象児：年長かえで組

作成者：薦田莉奈

作成日：2025.10.16